

報道関係者各位

2016年4月29日

平成28年熊本地震発生に伴う営業状況と 被災者支援の取り組みに関するご報告

平成28年熊本地震によりお亡くなりになられた方へ心からのご冥福と、被災された皆さまへ謹んでお見舞い申し上げます。

全国の皆様から、地震発生直後から温かい励ましのお言葉や、お見舞いをはじめ多大なるご支援を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

弊社も震源地にほど近い、熊本市の東区に社屋を構えております。一時はライフラインも止まり、社屋の破損等被害もございましたが、幸いにも従業員に人的被害がなく全員の無事が確認できております。しかしながら、避難生活を続けている社員もおり、余震の続く日々、改めて自然の驚異を感じております。

愛する熊本がこのような状況の中で、我々の使命である「健康と笑顔を届ける」ため、地元の企業としてまず出来ることから動き出そうと、社屋を避難所として開放し、また、野菜不足を補うために各避難所で青汁を配布しております。熊本の復興は笑顔からの想いから、子ども達を対象としたサッカー教室の開催支援などの活動も行っております。ライフラインも徐々に復旧してきておりますが、まだまだ日常を取り戻すには、時間を要します。私たちえがおは、企業としての支援を通して、皆さまと手を取り合いながら、1日も早い熊本復興のために尽力してまいります。

株式会社えがお
代表取締役社長
北野忠男

<震災後の営業状況>

- 4/14(木) 通常営業
- 4/15(金) 通常営業
- 4/16(土) コールセンター営業停止／熊本物流拠点からの商品発送停止
- 4/17(日) コールセンター一部営業再開
- 4/18(月) コールセンター営業再開
- 4/20(水) 熊本物流拠点からの発送再開(熊本県内除く)
- 4/21(木) 熊本県内発送再開(南阿蘇・益城エリア除く)

<(株)えがお 被災者支援の取り組み>

弊社では被災された皆さまのお力に少しでもなればとの想いで、被災者支援の取り組みを行っております。

■社屋を避難所として開放



4/14～17 まで開放していた避難所の様子

4/14 地震発生直後より、弊社では本社 1F のレセプションホールを近隣住民の皆さんに緊急避難所として臨時開放いたしました。従業員も多数会社に駆けつけ、社内で確保できた水や食料品をお配りした他、自宅から炊飯器を持ち出し、おにぎりやおみそ汁を作り、提供いたしました。

また、実際に被災地や避難所を回り、被災された方々からお話を伺う中で、中長期的な支援が必要であると考え、熊本市と連携し、現在は旧本社ビルの 1F を新たな避難所として開放しております。

4/27 現在、約 60 名の方が避難されております。

■避難者の健康を支えるため、避難所に青汁などをお届け



代表北野と従業員が各避難所を回り、避難されている方とお話をしながら青汁をお渡し

長引く避難所生活で、野菜不足による栄養の偏りも出てきております。弊社では避難者の方々の健康維持に少しでも役立てばとの想いで、避難所を回り、青汁やサプリメントを避難者の方々にお渡ししています。

活動を開始した4/19から4/28までの10日間で、60か所、70回以上の訪問を行っております。

■子どもたちに笑顔を届けるサポート



震災直後から精力的に被災者支援を行っているロアッソ熊本所属の巻誠一郎選手とともに、子どもたちに元気と笑顔を届けるため、活動を行っております。

避難所近くのサッカーコートをお借りして開催されるサッカー教室の運営サポートや、避難所を訪問。4/25には、浦和レッズの槇野智章選手、李忠成選手、西川周作選手、大谷幸輝選手、ヴィッセル神戸の田中英雄選手、三原雅俊選手、奈良クラブの堤隆裕選手がスペシャルゲストとしてお越しください、200名以上の子どもたちに元気と笑顔を届けてくださいました。